

明日を担う若手職員を紹介します！

No.6 北上川上流流域下水道事務所 技師 藤原聡史さん

美しい県土づくり NEWS では、県土整備部の明日を担う若手職員への突撃 お仕事インタビューを掲載しています。若手職員の日頃の仕事内容や、仕事に対する心意気などをご紹介しますので、ご期待ください。

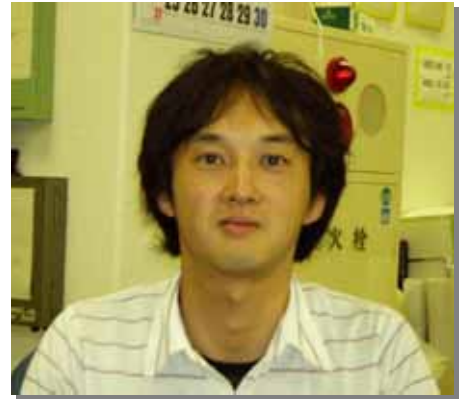
第6回は、北上川上流流域下水道事務所の藤原技師です。

Q1 担当している仕事を教えてください

平成13年度入庁（現在の総合土木職採用）

沿岸広域振興局岩泉土木センター（旧 岩泉土木事務所）岩泉町役場で道路の維持・修繕工事や設計の監督業務、県庁砂防災害課で県内公共土木施設の洪水・地震等による被災時の復旧業務を担当してきました。

現在は、北上川上流流域下水道事務所4年目で、主に下水道の全体計画と下水管渠や処理場の設計及び工事監督を担当しています。



Q2 仕事の面白いところは何ですか？

岩手県管理の下水処理場は4都市（盛岡市、北上市、奥州市、一関市）にあり、広範囲の下水を処理しています。そのため、公衆衛生の向上と確保を継続的かつ適切に遂行するという使命と責任を持って、仕事に携わることにやりがいを感じています。

また、通年で実施している施設見学や、毎年9月上旬に『下水道フェスタ』を開催することで、県民の方々との触れ合いにより下水道施設を身近に感じて頂く機会も多くあります。

Q3 仕事の難しいところは何ですか？

最も古い施設が使用開始から30年以上経過しており、改築工事を行う機会が増加しています。下水処理を適切に継続しつつ工事を実施する必要があるため、工法検討や設備運転の調整をミス無く行うことに難しさを感じています。

Q4 どんな職場ですか？

下水道施設は土木構造物の他、機械・電気設備や建築物により成り立つ施設であるため、下水道事務所には様々な分野の職員が在籍しています。より良い下水道施設にするためには、各分野の技術連携が欠かせず、職員間の意見交換が活発に行われています。連携が基本の職場なので、相談等も抵抗無く行うことができ、また、年齢層もバランスが取れ、経験者も豊富なので、非常に良い職場です。

場所は北上川沿いの盛岡市最南端にあり、見学も受付けていますので、お気軽にご連絡ください。

Q5 最後に一言（今後の抱負など）！

年齢・経験共に若手という部類には入りませんが、現職場では4年目にもかかわらず、県庁や事務所の上司・同僚からたくさんのアドバイスやバックアップを受け、日々の業務に取り組んでいる毎日です。入庁時の志を忘れることなく、努力を惜しまない姿勢を貫いて行きたいです。どうぞよろしくをお願いします。



下水管渠の中です。直径1800mm位あります。